

例会報告



- 例会日 毎週金曜日 12:30~13:30
- 例会場 高山市花里町3-33-3 TEL 34-3988
- 大垣共立銀行 高山支店 4F
- 会長 遠藤 隆浩
- 幹事 垣内 秀文
- 会報委員長 長瀬 達三

第2600回例会 令和元年11月15日
ロータリー財団委員会担当例会

＜会長の時間＞

俳句というものは詠まれた方は詠まれた方で思い入れがあるでしょうし、拝読したほうは拝読したなりに何かを感じるものです。先だってロータリーの友に水中花を題材にした小森さんの俳句が掲載されていましたが小森さんの高尚な思いとは別に私は松阪慶子さんがレオタード姿で歌った愛の水中花を思い出し青春時代を懐かしみました(笑)



ということで話の枕は終わりました以前からお客様との打ち合わせ等で強く感じるのは人口減少がじわじわとボディブローのようにききはじめていくということです。これはふたつの側面があってひとつは自社の働く人が足りない、もうひとつは消費者等がへっているということです。これはビジネスの根幹を揺るがす事態であり今後一層進んで行くと思います。人が足りないのは私企業だけではなくお役所も同じようで、税務調査等税務署の対応にもそれを感じます。公も会社も組織の今までの仕組みに縛られず根本的な改革をしないと仕事が回っていかなくなります。人事制度、テクノロジーの活用、これからの課題はつきません。

経営者は先手先手で手をうつ必要があります。これからの会長の時間は仕事の話も少し話していきたいと思っています。

＜本日のプログラム＞

ロータリー財団委員会

ロータリー財団委員長

古橋 直彦

本日のロータリー財団委員会担当例会は、10月19日に行われました地区ロータリー財団セミナーに出席された会長エレクトの堺さんと副幹事下屋さんより、地区補助金事業についてお話しいたします。よろしくお祈りします。



会長エレクト 堺 和信

10月19日に津市で行われました、ロータリー財団研修会に参加し、地区補助金とグローバル補助金の事業内容や補助金申請の説明を受けてきましたので、その内容をお話しさせていただきます。

その前に、先ほど理事会報告にございましたように、次年度において地区補助金による事業を行うことを理事会におきまして承認されました。その事業内容につきましては、後半に副幹事の下屋さんより説明をさせていただきます。

2630地区では、6年前の2013-14年に6つの優先事項を基に、「未来の夢計画」としてロータリー財団の新しい補助金シェアシステムとして始まりました。その財源は、ロータリアンの年次基金寄付と恒久基金寄付からなり、地区が補助金として使用できる金額（地区財団活動資金）は3年前の年次基金寄付（EREY）と恒久基金投資収益の合計額の50%で、その内の50%（全体の25%）が地区補助金として残りの50%（全体の25%）がグローバル補助金として使用できます。

地区補助金とグローバル補助金は、それぞれ5つの仕組みからなっており、これまでの利用状況は事業総数が169件、奨学金による留学生は17名、そして地区財団活動資金の総額は100万ドルとなりました。

地区補助金の流れは、2020年1月31日までに申請書を提出し、2020年7月から2021年3月までに事業を実施、2021年4月末までに事業報告書を提出しなければなりません。

地区補助金の支給額は3年前の年次寄付（EREY）への寄付額によって決定します。高山西ロータリークラブの年次寄付額は地区で2番目に多く340ドルで、これはPHFへの寄付（1000ドル以上の寄付）が多いためです。従いまして限度額の12,000ドルまでの補助金は頂けます。

対象となる事業は、人道的プロジェクト、奉仕プロジェクト、奨学金や「財団の使命」に関連していることや、ロータリーに対する地域のニーズを掘り起こす事業に使用できます。周年事業や継続事業のほか、単なる物品の寄贈は対象になりません。

＜幹事報告＞

＜例会変更＞

美濃加茂 … 12月20日（月）は、家族クリスマス例会のため
18:00～ シティホテル美濃加茂 に変更
12月27日（金）は、定款により 休会
1月 3日（金）は、定款により 休会
1月10日（金）は、新年例会のため
18:00～ シティホテル美濃加茂 に変更
1月31日（金）は、定款により 休会

可 児 … 12月 5日（木）は、定款により 休会
12月12日（木）は、年次総会のため、
18:30～ おりべ亭 に変更
12月19日（木）は、クリスマス例会のため
18:30～ グリーン・キャメロットに 変更

＜受贈誌＞

米山記念奨学会（ハイライトよねやま236）

＜出席報告＞

	出席者数	会員数	出席率
本日	30名	41名	73.17%

例会報告

次にグローバル補助金ですが、海外のロータリークラブと共同で3万ドル以上の大規模な人道的プロジェクトをする場合に申請でき、6つの重点分野に該当しプロジェクトの成果が持続し測定が可能であることが条件です。この地区ではすでに企画提案がされており、そのいずれかを選択しなければなりません。

以上、地区補助金とグローバル補助金について説明をさせていただきました。



副幹事 下屋 勝比古

財団事業について2案を出させていただきます。

案1 テーマ「市内ハンドボール選手に向けた講習及びブランクブルズ応援」(案)

高山市のハンドボールは全てのカテゴリー(少年・中学・高校・社会人・実業団リーグ)において全国大会に出場して

いる高山市のスポーツ界を牽引している競技です。ただ、イマイチ人気が高いことから競技を理解している人が少なく実際に応援するまでには至っていません。また、資金を持たない県選抜チームなどはユニフォームが古くなってもなかなか新しいものに更新できないのが現状です。

そこで、補助金を使って広く市民(会員)にハンドボール競技を理解していただき応援してもらおうということが狙いです。具体的には、ハンドボール競技を理解するため審判を招いてのルール講習。ハンドボールを使った(少年・会員対象)体験会。ゲーム観戦と応援。必要な用具やユニフォームの提供。などを行います。この事業は半年にわたって競技理解と体験、講習会、最後に高いレベルのゲーム観戦までを一つにした、体験型の事業です。

案2 テーマ「大相撲交流と大相撲体操体験」

日本の国技である大相撲は、実際に見たり力士と触れ合ったりする機会がありません。

実際に大相撲の稽古を見学し、力士と共に食事を囲み力士との交流を通じて大相撲の奥深さを感じると共に、身体の大きさや大相撲の文化を学ぶ機会になります。

具体的には、高山市相撲場に大相撲の(田子ノ浦 or 西岩)部屋の合宿を招致し、場所を提供する代わりに、高山市内の保育園などを招いた交流会。実際にチャンコ鍋を力士と一緒に作り最後は試食する。また、土俵入りを参考に考案された「相撲エクササイズ」を実際の土俵を使って体験することができる。

以上簡単に2つの案を考えてみましたが、現実的に6月に行う大相撲は事業時期としては少し困難ではないか? また、資金の使い方が不明瞭な部分があり事業として適切な運営ができるかが心配である。案1であれば、地元の子どもや生徒さらには地元の企業に所属している選手であることから地元で根付く事業としていいのではないか?

以上今のところ事業の概要を述べてみましたが、皆さんからのご意見をいただきながら具体的な事業案を作成していきます。



<ニコニコボックス>

●遠藤 隆浩さん、垣内 秀文さん

本日はロータリー財団委員会担当例会です。古橋委員長、堺さん、下屋さんよろしくお願ひします。また、いよいよ明日から地区大会です。高山西クラブらしく清く正しく美しく行って参ります。22日の地区大会報告ご期待下さい。

●古橋 直彦さん

本日はロータリー財団の担当例会です。よろしくお願ひします。

●小森 丈一さん

先週は結婚祝いを頂きありがとうございました。二人共元気で居る事はありがたい事と感謝しています。

●阪下 六代さん

昨11月14日の妻の誕生日に立派な花束をお贈り下さりありがとうございました。

●米澤 久二さん

先日上高地のカップ橋から明神池を往復した所、全く歩けなくて途中何回も休憩しました。万歩計では16,000歩でしたが体力のなさががっかりしました。同行してくれた友人に感謝してニコニコします。

●下屋 勝比古さん

先週は例会お休みして娘のハンドボール全日本学生選手権へ行きました。結果は3位。次年度主将に任命され1年間親子で心労と夢を追います。

●大前 克秀さん

全国古民家再生協会の月刊誌を机の上に置かせてもらいました。読んでいただければ幸いです。

●岡田 賛三さん、田近 毅さん、平 義孝さん、米澤 久二さん、

田中 武さん、田中 晶洋さん、田邊 淳さん、黒木 正人さん、杉山 和宏さん、萱垣 敬慈さん

本日、高山西ロータリークラブは第2600回例会を迎えました!! ひとえに歴代諸先輩皆様の積み重ねとご努力の賜物と敬意と感謝を申し上げます。2019-2020年度遠藤・垣内丸のもと「未来につながるロータリー」に向け、これからも引き続き、ともに歩んでまいりましょう!!

●住田 泰典さん

人生の時間には限りがあることを痛感する出来事があり、時間の使い方を見直すことにしました。今後は、今まで以上に仕事に打ち込む時間を作ることと、家族と一緒に過ごす時間を作るため、上期でクラブを退会します。5年間ありがとうございました。末筆ながら皆様のご健康とご健勝を心よりお祈りしております。

